

減災ニュース

和田三丁目東町会

減災プロジェクトチーム 情報Ⅷ

消火隊の活動について

はじめに

新聞やテレビでは、首都直下型地震の可能性についてのニュースや特集を目にするようになりました。首都直下型地震がいつ起こるかは分かりませんが、きたるべき災害に備えて準備をしておくことは決して無駄にはならないと思います。

当町会エリアにおける一番のリスクは大地震発生に伴う火災被害です。通常の火災ならば、119番に連絡すればすぐに消防車が来て消火してくれますが、大地震発生時には道路網や電話網の寸断、火災の多発などが想定されておりますので、消防署の救助活動に期待できないという状況になる可能性が高いと思われます。

初期消火活動

火災は一般に初期の段階においては、比較的簡単に消し止められると言われております。もちろん、火災が大きく燃え広がって天井にまで燃えている状態や、部屋の窓からも火炎が噴出している状態では消火活動など論外ですが、火災の初期段階における消火活動の有効性は誰もが認めるところでしょう。

消火訓練

当町会では、大震災発生時を前提とした初期消火活動の訓練を毎月1回実施することといたしました。訓練予定と場所は町会掲示板に掲載してありますので、お近くで訓練が実施されます際には是非参加頂きたいお願い致します。

地震や火災などの災害発生時には、誰もが動転してどう行動すべきか解からなくなるものです。日頃の訓練に参加してスタンドパイプ等に触り、扱い方を覚えておくことは非常に大切なことだと考えます。また訓練を機会に、災害発生時にご自分やご家族の命を守るためどう行動すべきかシュミレーションして頂ければ幸いです。

消火隊の目的

消火隊は、消火訓練の実施により、地域住民の皆様の初期消火活動を円滑に行えるようお手伝いすることを目的としています。名称は消火隊としておりますが、消火隊スタッフも大震災発生時には自分のことに精いっぱい、火災現場への急行は難しいと思われます。大震災に伴う火災発生時には周囲の方々が協力して、消火活動を行うことが必要です。消火隊としてできることは、消火訓練の回数と場所を多くすることにより、少しでも多くの皆様に初期消火活動を理解して頂ければと考え、活動しております。

お問い合わせ先 松尾 5932-0083